

株式会社イメージ・マジック

2026年12月期 第2四半期決算説明会資料

2026年8月24日

株式会社 イメージ・マジック 証券コード：7793

IMAGEMAGIC

Contents

目次

1 会社概要

2 業績

3 株主還元

4 今後の成長戦略

5 Appendix

オンデマンドプリントサービス



①自社受注サイト

当社インターネットサイトを經由で受注し
プリント加工を行い出荷するサービス



オリジナルプリント.jp



②連携パートナー

当社のシステムと連携した会社經由で受注
データを取り込み、製造出荷するサービス

《主なグッズ例》

オリジナルグッズ/カジュアルギフト/クリエイターグッズ/
エンターテインメントグッズ/ノベルティ/ユニフォーム



ソリューションサービス



③ソフトウェア開発・提供

オンデマンドプリントの各ワークフローを
OEM及びSaaS型モデルとして提供

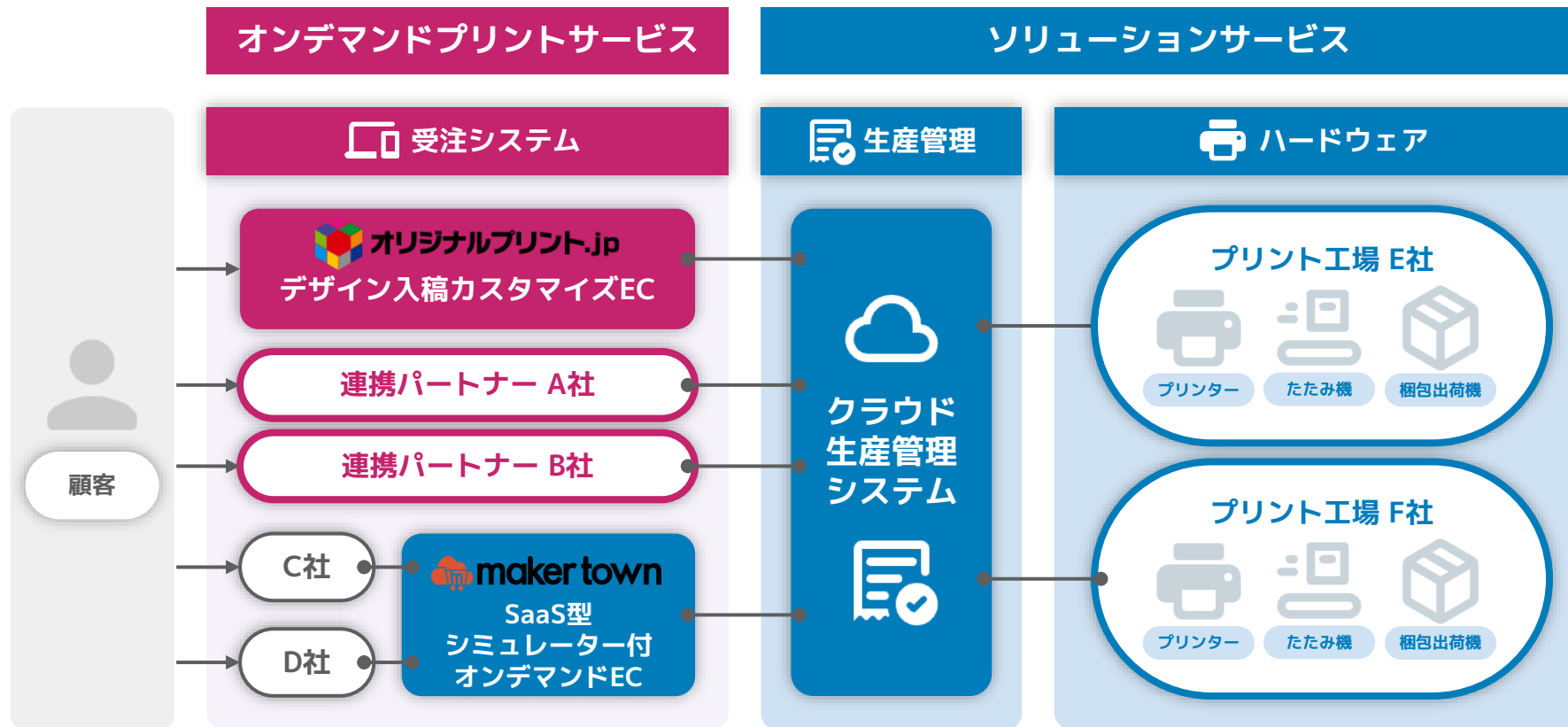


maker town



④ハードウェア開発・販売

プリンター/加工機/たたみ機/梱包機等
生産・出荷プロセスで関わるハードウェアを
提供



個性と創造性溢れる 豊かな社会づくりに貢献します。

私たちは、一人ひとりの個性や創造性が尊重される社会の実現に向け、AIへの積極的な投資を加速させています。

AIをはじめとした先端技術を深く統合することで、生産性と品質を飛躍的に向上させ、モノづくりをかつてない速さと柔軟性で進化させます。

これにより、人々に感動と喜びを届ける新たな価値を創出し、サステナブルで豊かな社会を築いていきます。

オンデマンドプリントの自動化とAI活用による変革



**簡単・便利な
モノづくりを実現**

AIによるデザイン提案や自動化ツールで、誰もが直感的にモノづくりを楽しめ、最適なタイミング・価格で手元に届く仕組みを実現します。



**オンデマンド
生産市場拡大に貢献**

工場のモノづくりDXを加速し、AIによる生産計画・品質管理の完全最適化を実現。業界全体の生産性を飛躍的に向上させていきます。



**在庫を減らし
つくる責任を果たす**

AI需要予測と在庫管理の徹底的な活用により、無駄な在庫や廃棄を大幅に削減。AIを駆使して『つくる責任』を強く果たしていきます。



**ソリューションを
グローバルに提供**

世界中の最適なソリューションにAI技術を掛け合わせ、より高品質で持続可能なモノづくりサービスをグローバルに提供していきます。

事業活動を通して、社会課題の解決と企業価値向上を実現

イメージ・マジックは、創業時より「必要なものを必要な分だけ作る」というポリシーを掲げ、環境負荷の低減に取り組んできました。
これからもテクノロジーを活用した事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



環境



社会



ガバナンス





オンデマンド生産の仕組みをクラウド化したサービスの提供

従来の大量生産システムとは異なり、お客様のニーズに合わせたオンデマンド生産を実現するクラウドサービスを提供しています。これにより、無駄な在庫を抑え、資源の有効活用と環境負荷の低減に貢献しています。

資源の有効活用

環境負荷の低減



サステナブル製品の提供

環境に配慮した素材や製法を採用したサステナブル製品を積極的に使用し、環境負荷の低減に努めています。

また長く愛用できる高品質な製品を提供することで、廃棄物の削減にも貢献しています。

環境負荷の低減

廃棄物の削減



AIを用いたお問い合わせ対応

適切なAIツールを選定し、回答精度を高めるためのプロンプトのチューニング、商品データの学習を強化。さらにCRMと連携することで、AIが質問の意図を汲み取った適切な回答から商品のおすすめまで、信用度の高い回答を実現。

顧客対応の効率化・回答精度の向上

AIによる最適な提案



「オンデマンドアパレル」で 持続可能なモノづくりを推進

オンデマンドアパレルシステムを開発し、必要なものを必要な量だけ生産することで、過剰生産や在庫ロスを防ぎ、資源の有効活用に貢献。生産計画の高度化や無駄な工程の削減など、生産効率の向上に向けた取り組みも積極的に推進。

過剰生産や在庫ロスの削減

生産計画の高度化・無駄な工程の削減



環境負荷の低減に貢献する 顔料インクと昇華染色の採用

環境負荷の低い顔料インクと昇華染色の技術を採用し、水の使用量や廃棄物の削減を実現しています。インクの独自開発など、安全性の高い製品の提供に向けた取り組みも積極的に推進。

水の使用量や廃棄物の削減

環境負荷の低減



工場から出る廃棄物の 再資源化（固形燃料化）

工場から出る産業廃棄物を燃料に変換するRPF（リサイクル燃料）を製造し、廃棄物の削減とエネルギーの有効活用に貢献しています。RPFの普及促進にも取り組んでいます。

再資源化・CO2排出量の削減

RPFの普及促進

2

業績

IMAGEMAGIC

オンデマンドプリントサービスが堅調に推移し
第2四半期の売上・利益は半期ベース※での過去最高値を更新

売上高

5,148百万円

前年同期比 +17.6%

売上総利益

2,048百万円

前年同期比 +14.7%

営業利益

242百万円

前年同期比 +16.6%

経常利益

245百万円

前年同期比 +17.2%

当期純利益

164百万円

前年同期比 +41.4%

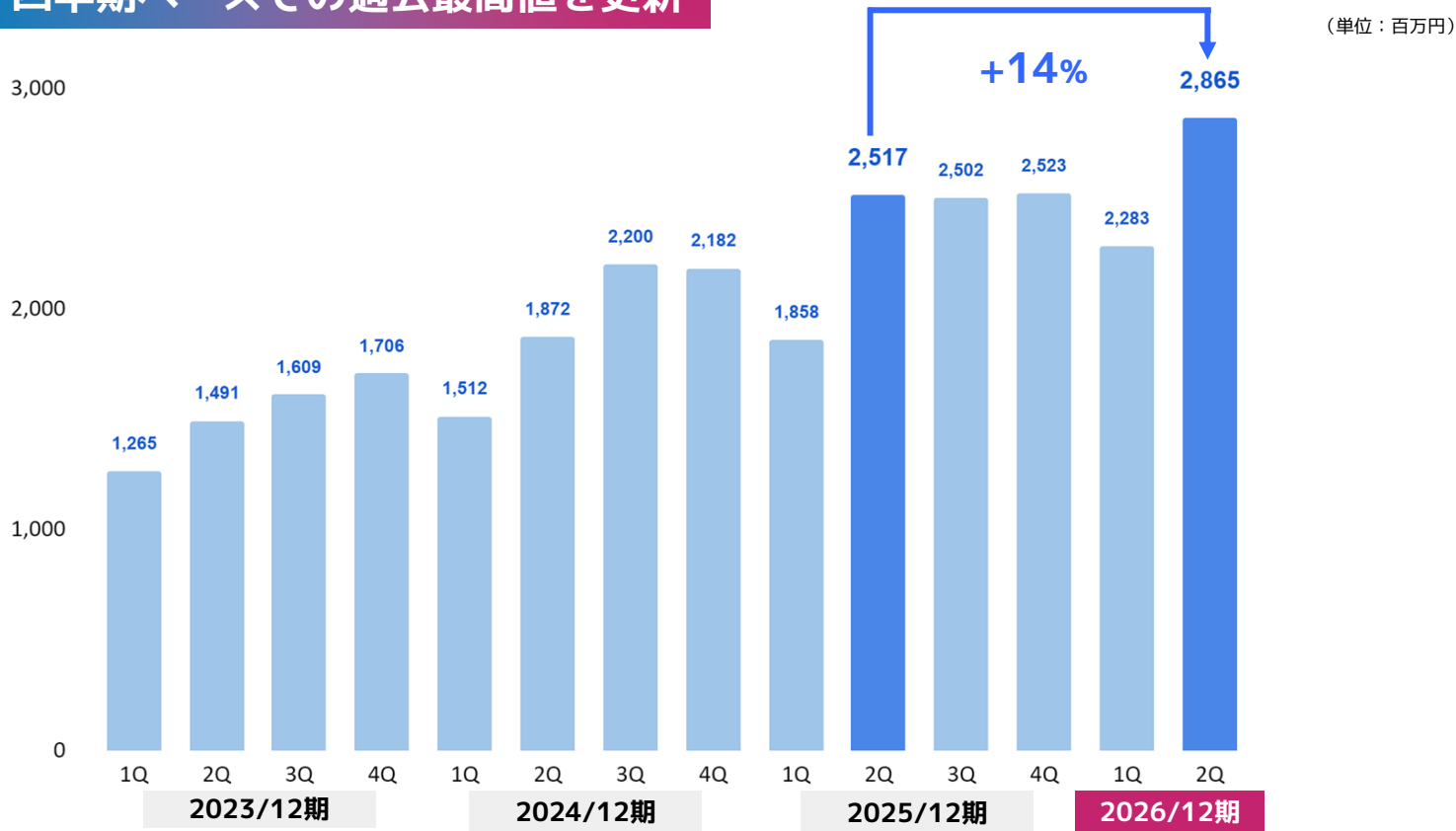
※過去の数値を12月期換算して比較

下期に利益が偏重する季節特性があり、通期計画に対して順調に進捗

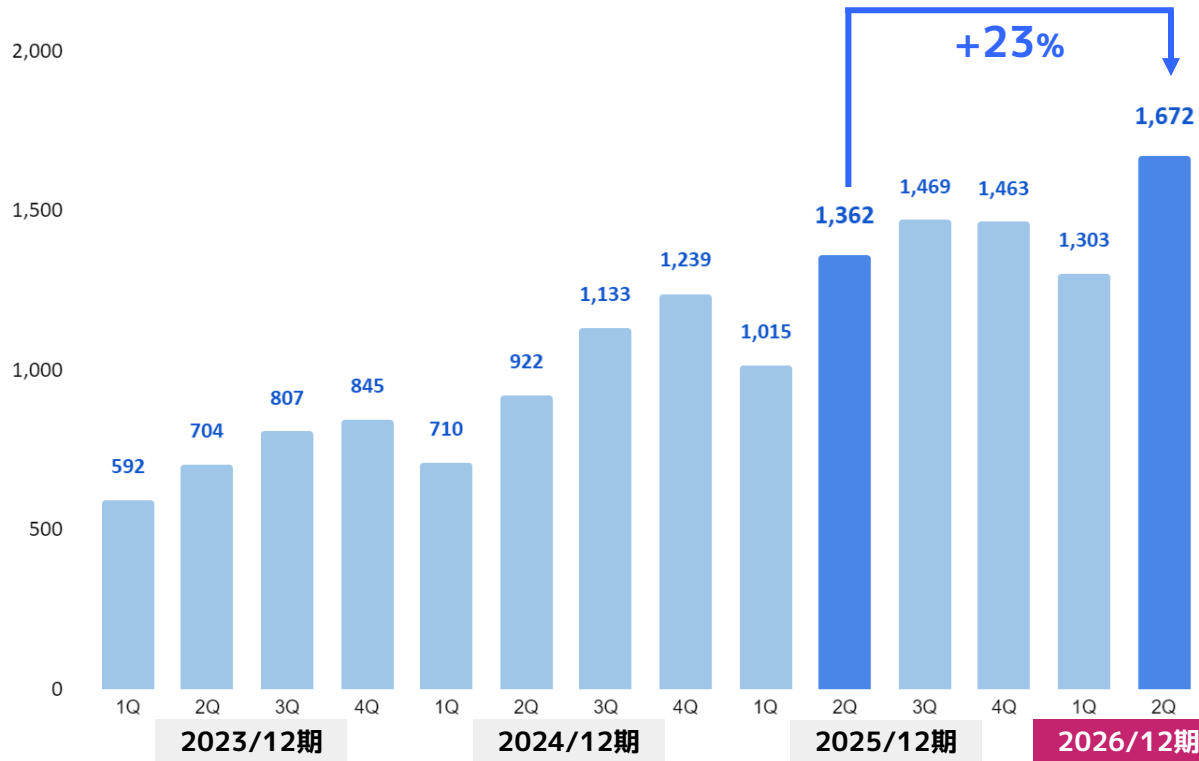
	2025年12月期 2025年1月 ～2025年6月	2026年12月期 2026年1月 ～2026年6月	前年同期比		2026年12月期通期	
(単位：百万円)	前期2Q実績	当期2Q実績	増減額	増減率	通期予想	通期予想 進捗率
売上高	4,375	5,148	772	17.6%	10,700	48.1%
売上総利益	1,785	2,048	262	14.7%	—	—
対売上比 (%)	40.8%	39.8%	△1.0pt	—	—	—
営業利益	207	242	34	16.6%	650	37.3%
対売上比 (%)	4.7%	4.7%	△0.0pt	—	6.1%	—
経常利益	209	245	35	17.2%	650	37.7%
対売上比 (%)	4.8%	4.8%	△0.0pt	—	6.1%	—
当期純利益	116	164	48	41.4%	440	37.3%
対売上比 (%)	2.7%	3.2%	+0.5pt	—	4.1%	—
EBITDA※	332	379	47	14.2%	—	—
対売上比 (%)	7.6%	7.4%	△0.2pt	—	—	—

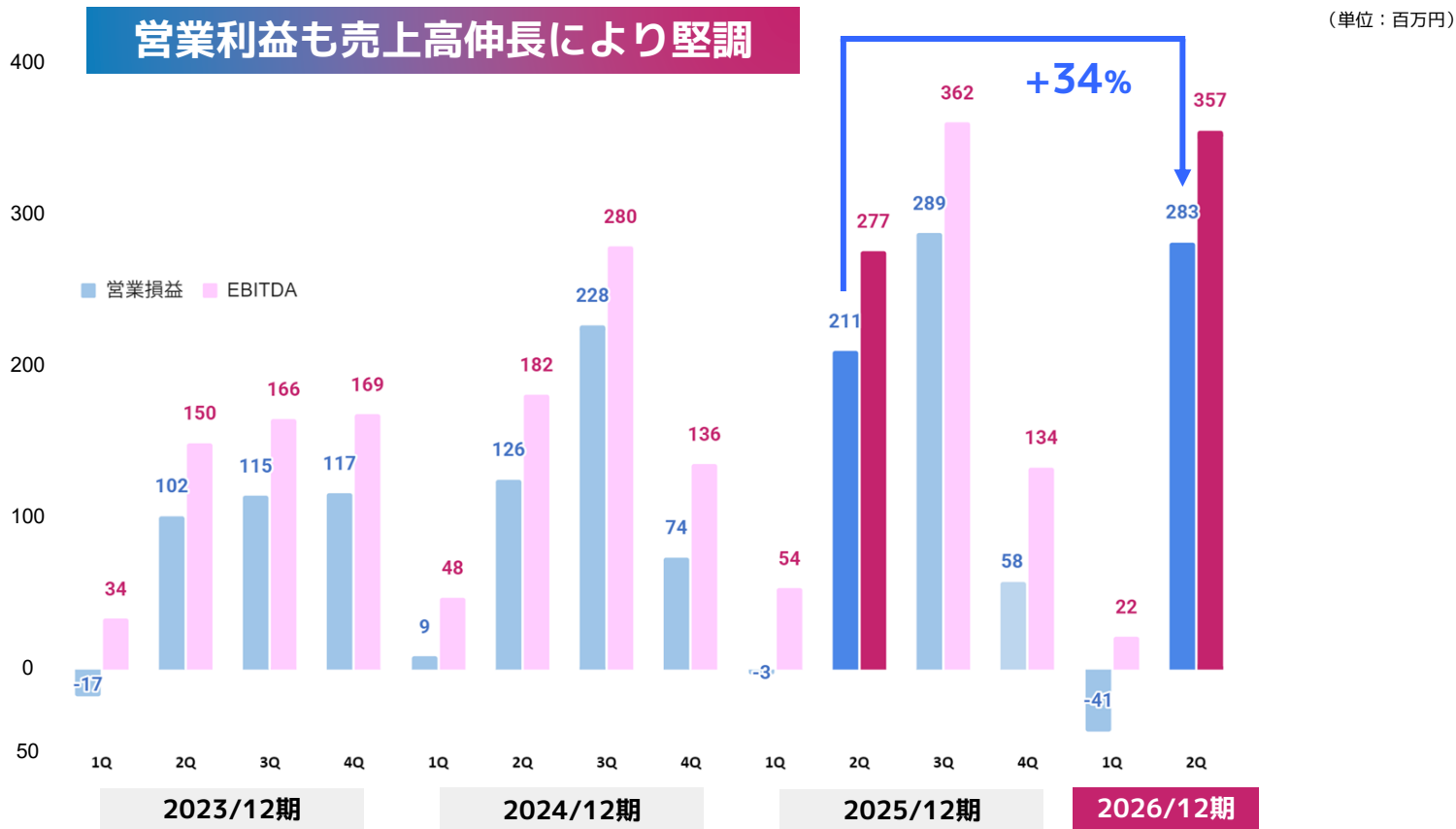
※：EBITDA＝経常利益+支払利息+減価償却費

四半期ベースでの過去最高値を更新



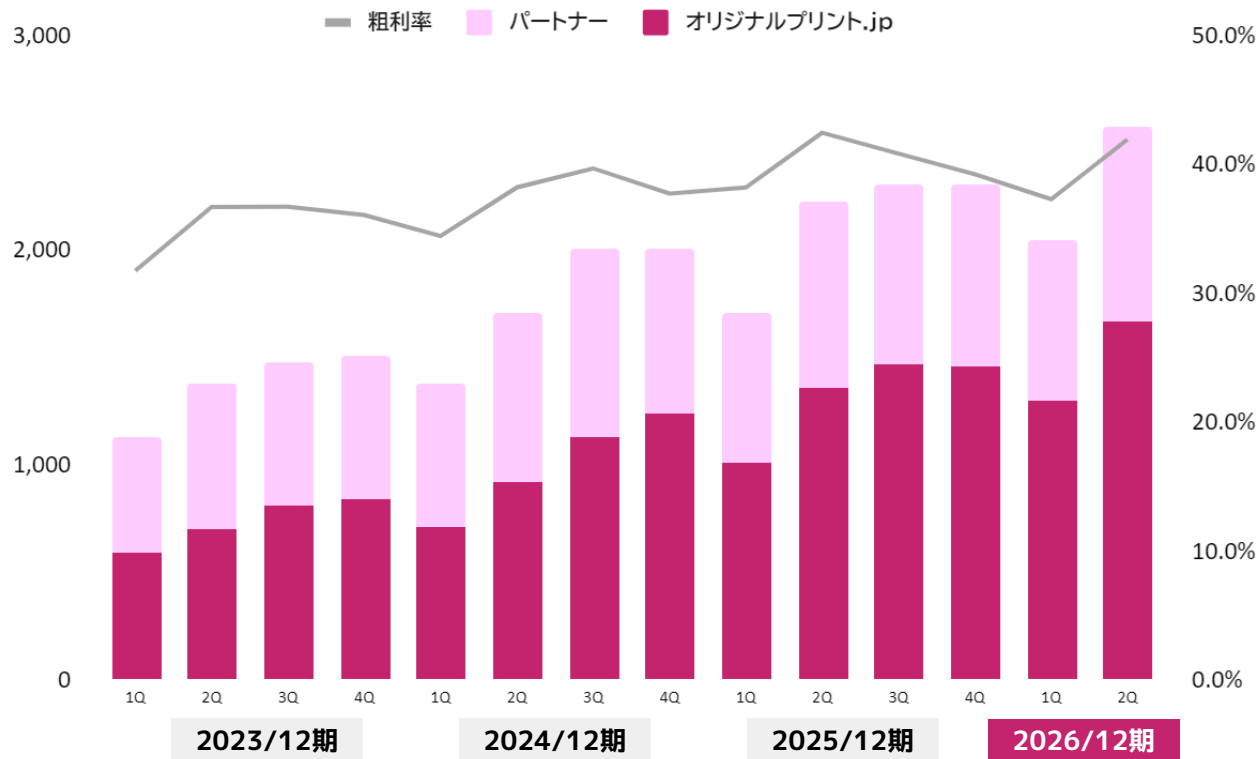
四半期ベースでの過去最高値を更新



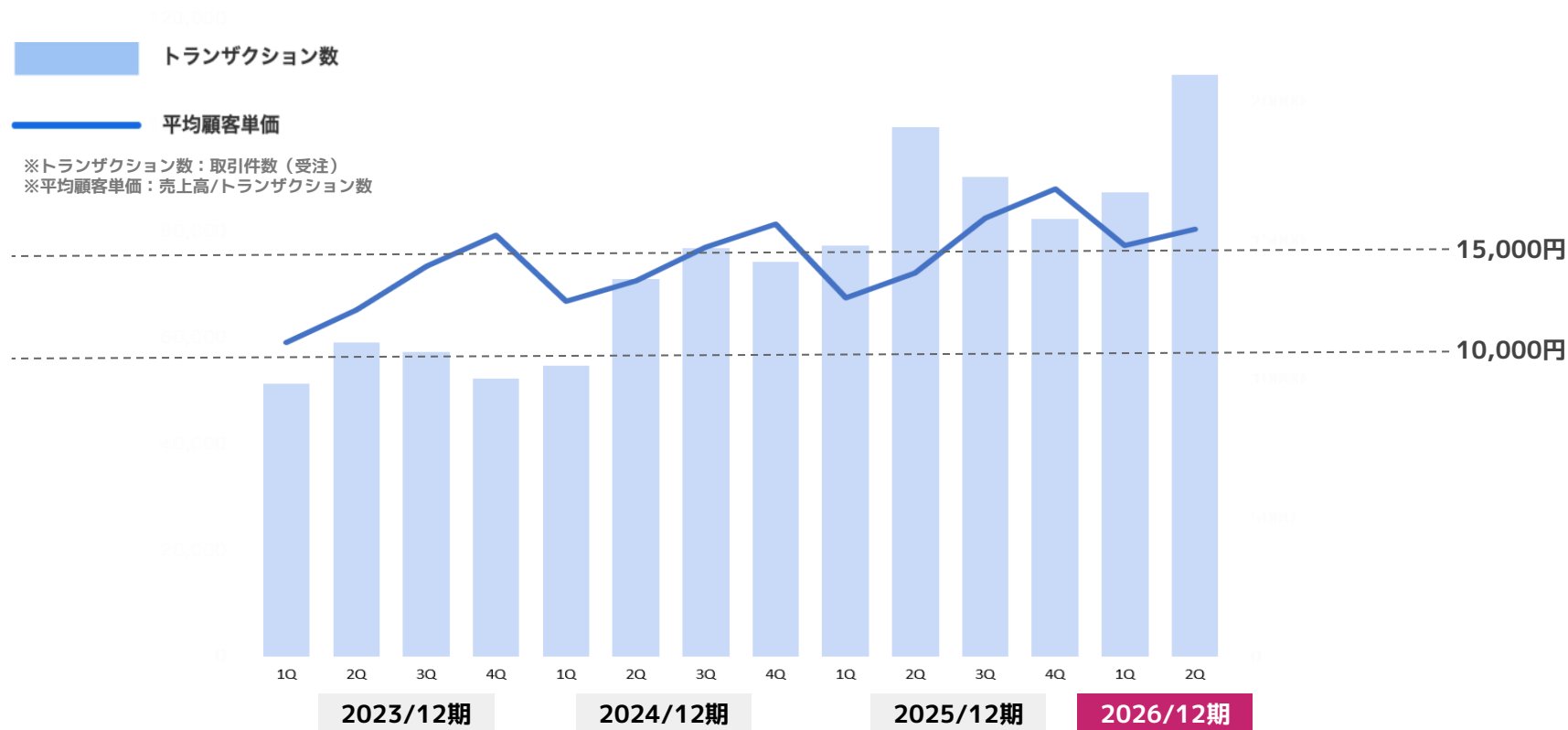


四半期ベースでの過去最高値を更新 オリジナルプリント.jp 及びアパレル向け受注が伸長

(単位：百万円)

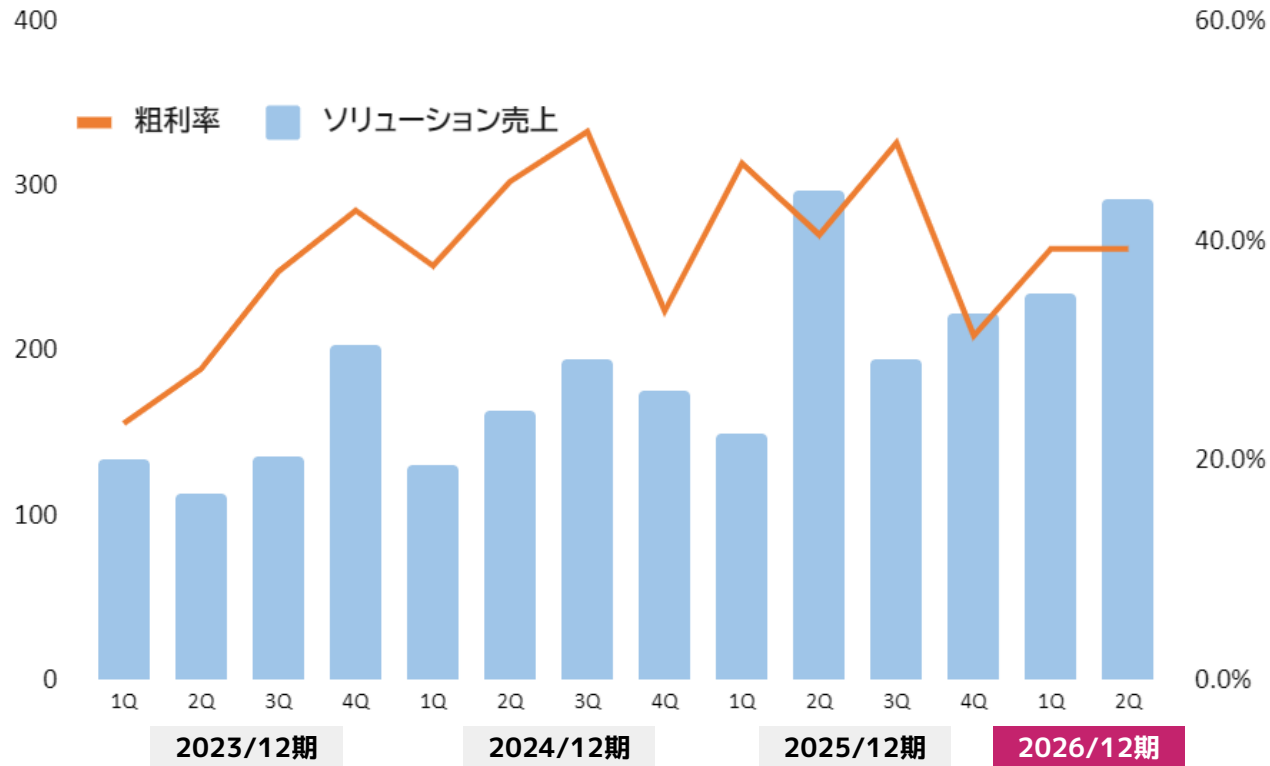


品揃えの拡大とマーケティングの積極化がトランザクション増に貢献

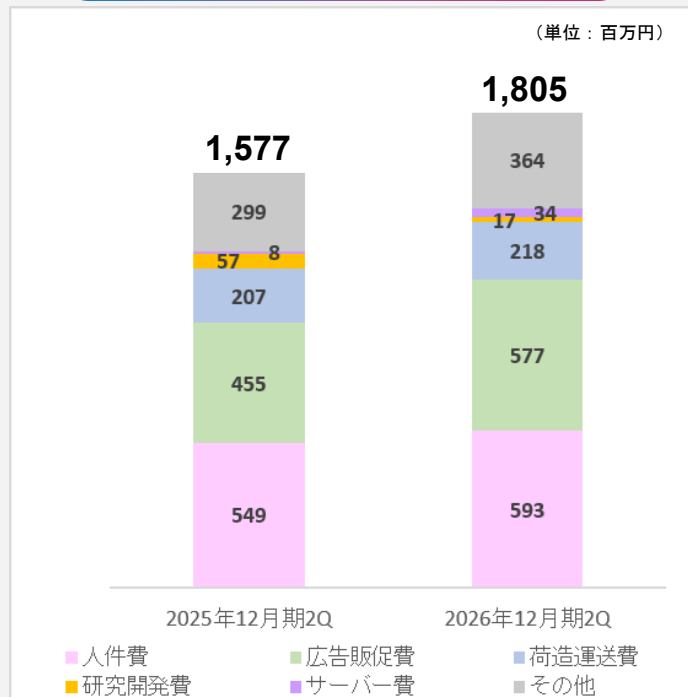


大型案件はなかったが消耗品の販売堅調

(単位：百万円)



販売費及び一般管理費の主な内訳



当期販売費及び一般管理費

1,805百万円 前年同期比：228百万円増 (+14.5%)

人件費

社員および派遣社員増員による増加

593百万円 前年同期比：44百万円増 (+8.1%)

広告販促費

売上に連動させた広告出稿積極化により増加

577百万円 前年同期比：121百万円増 (+26.8%)

荷造運送費

オンデマンドプリント売上増に伴う増加

218百万円 前年同期比：10百万円増 (+5.3%)

研究開発費

開発案件の一巡に伴う減少

17百万円 前年同期比：39百万円減 (△69.4%)

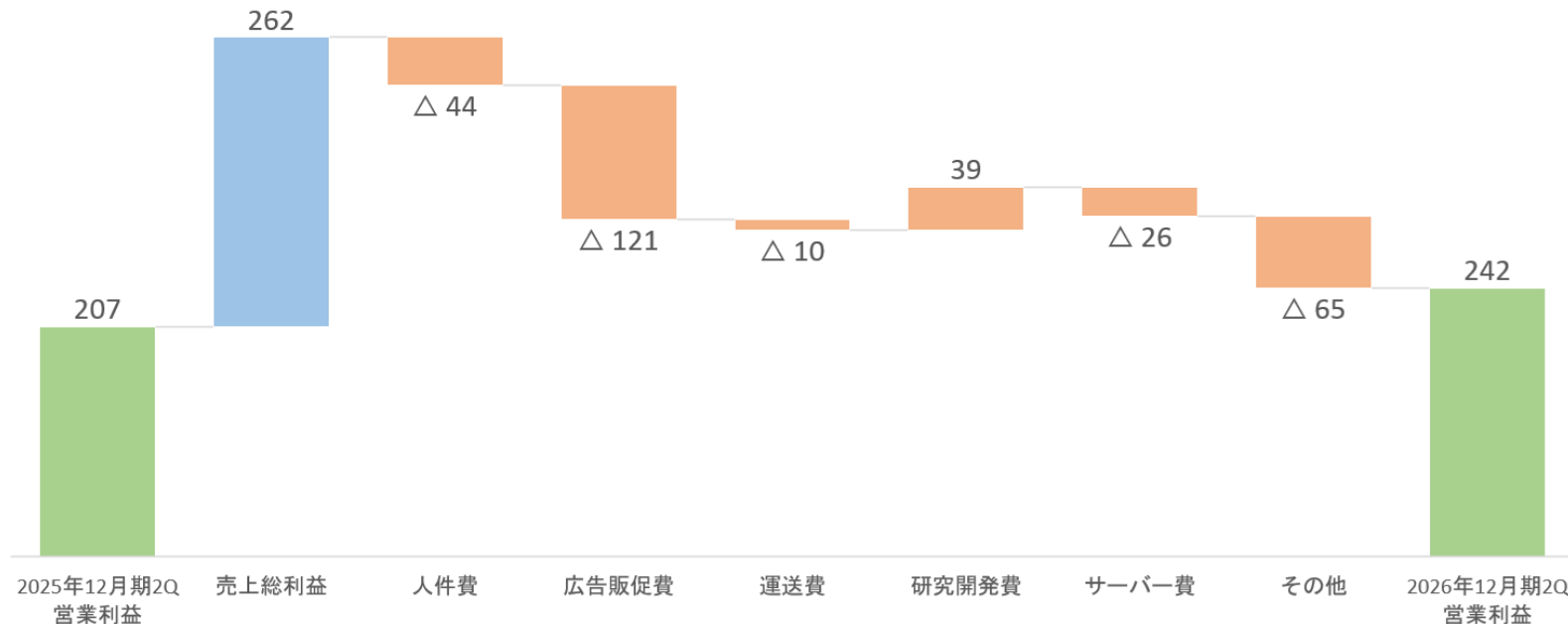
サーバー費

クラウド移行に伴う増加

34百万円 前年同期比：26百万円増 (+311.4%)

広告宣伝費/人件費等増加を売上総利益増で吸収し、半期ベース※過去最高の営業利益達成

(単位：百万円)



※過去の数値を12月期換算して比較

- 工場拡張や生産設備の更新に伴う固定資産が増加
- 自己株式取得や配当支払があったものの、2Q利益積上げにより純資産は前期末水準まで回復

	2025年12月末	2026年6月末	前期末比
(単位：百万円)	前期末	当2Q末	増減額
資産合計	3,508	3,499	△ 8
流動資産	2,255	2,033	△ 222
固定資産	1,252	1,466	214
負債合計	1,452	1,456	3
流動負債	1,291	1,318	26
固定負債	160	138	△ 22
純資産	2,055	2,043	△ 12
総資産	3,508	3,499	△ 8
有利子負債	162	121	△ 40
現預金残高	1,167	552	△ 615
ネットキャッシュ	1,005	430	△ 575
自己資本比率 (%)	58.6%	58.4%	△0.2pt

(単位：百万円)	2025年12月期	2026年12月期	前期比
	2Q累計	2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	33	△ 42	△ 76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 263	△ 353	△ 90
フリー・キャッシュ・フロー	△ 229	△ 396	△ 166
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 131	△ 218	△ 87
現金及び現金同等物の増減額	△ 361	△ 615	△ 253
現金及び現金同等物の期首残高	940	1,167	226
現金及び現金同等物の期末残高	579	552	△ 27

【主な内訳】 ※数値は全て百万円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権△317、法人税△91、税引前中間純利益+239、減価償却費+133、仕入債務+114

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産取得△339

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式取得△96、配当支払△80、長期借入返済△39

研究開発関連費用：111百万円

(研究開発費：17百万円 + 設備投資額：11百万円 + 関連経費：83百万円)

開示可能主要研究カテゴリー



AMR（自動搬送ロボット）



自動名寄せ機



自動たたみ仕分け出荷機

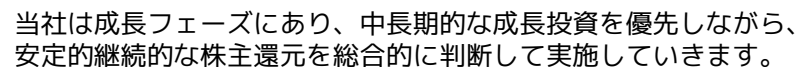
3

株主還元

IMAGEMAGIC

取得期間	FY25（実績）	FY26（予定） 2026/2/16-7/31	FY26（実績） ※2026/7月末現在	累計実績
株式総数	60,000株	60,000株 （上限）	60,000株 （100.0%）	120,000株
取得価額	87,272,600円	150,000,000円 （上限）	99,330,100円 （66.2%）	186,602,700円

本買付をもって一旦自己株式の取得を終了。今後も流動性や需給バランス、当社の機動的資本政策に鑑み、適宜実行を検討。



4

今後の成長戦略

IMAGEMAGIC



AMR導入

- AMR（自律走行搬送ロボット）は搭載したセンサーで周囲の状況を把握しながら自律移動
- 工場内の物の移動の自動化



既存プリンタへのカメラ設置

従来のプリンターは位置決め精度が低く、治具による調整が必要で非効率だった

< 既存プリンターへのカメラ搭載効果 >

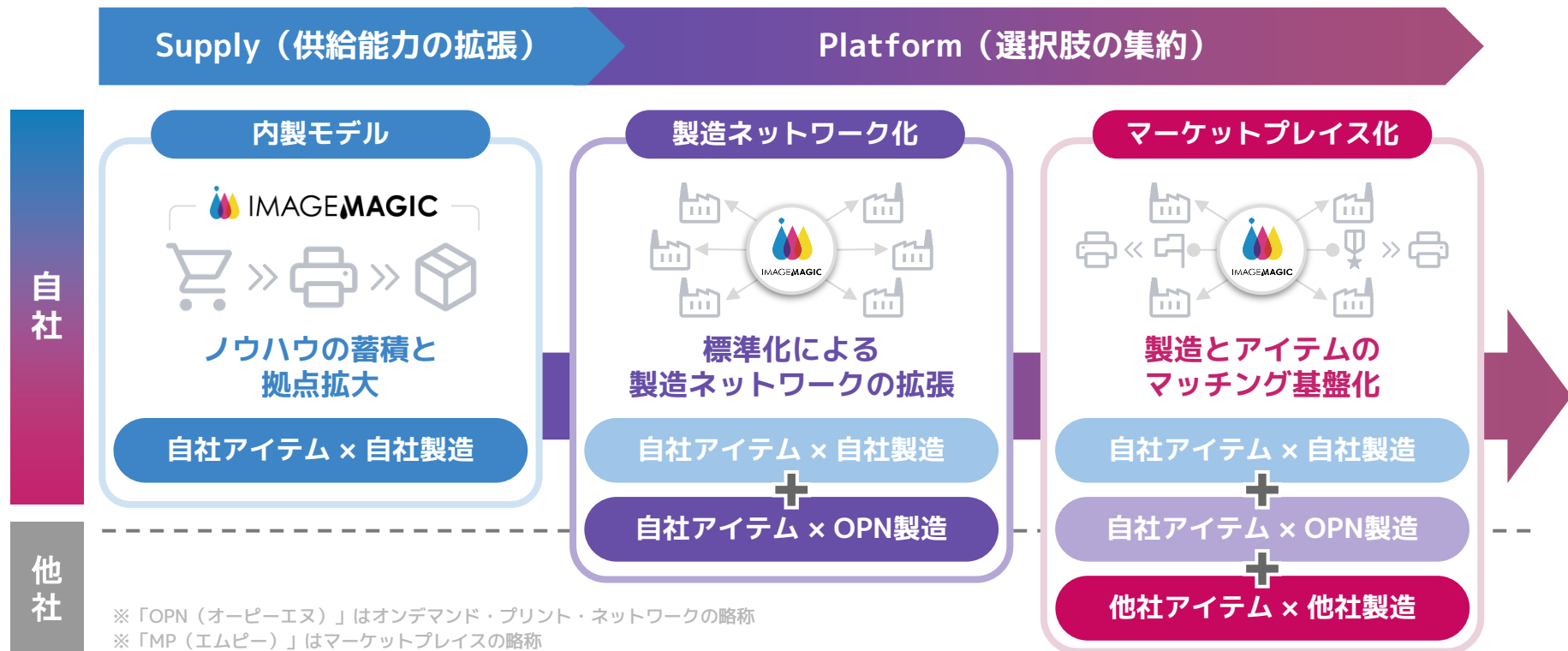
- 印刷対象を正確に認識し位置決めが可能
- 治具レス化による大幅な生産性向上を実現

インクを使わない
アパレル製品へ
高速プリント



インク不要のため
消耗品コストゼロ

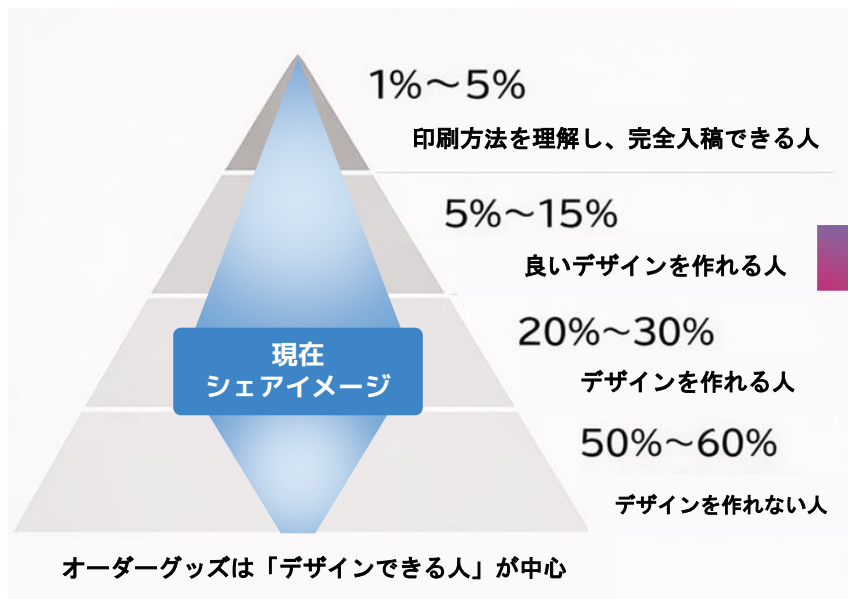




今後もOPNとMPアイテムパートナーの両輪を拡張

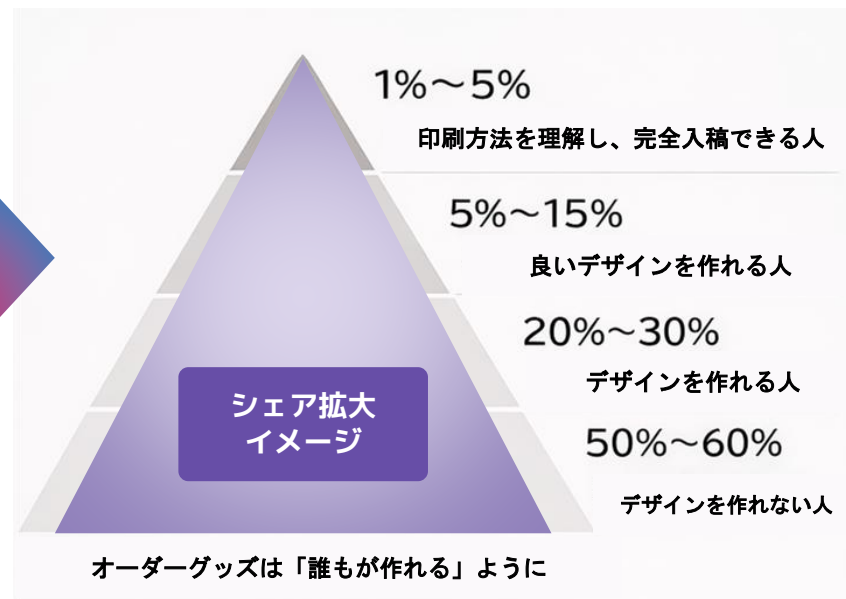
これまで

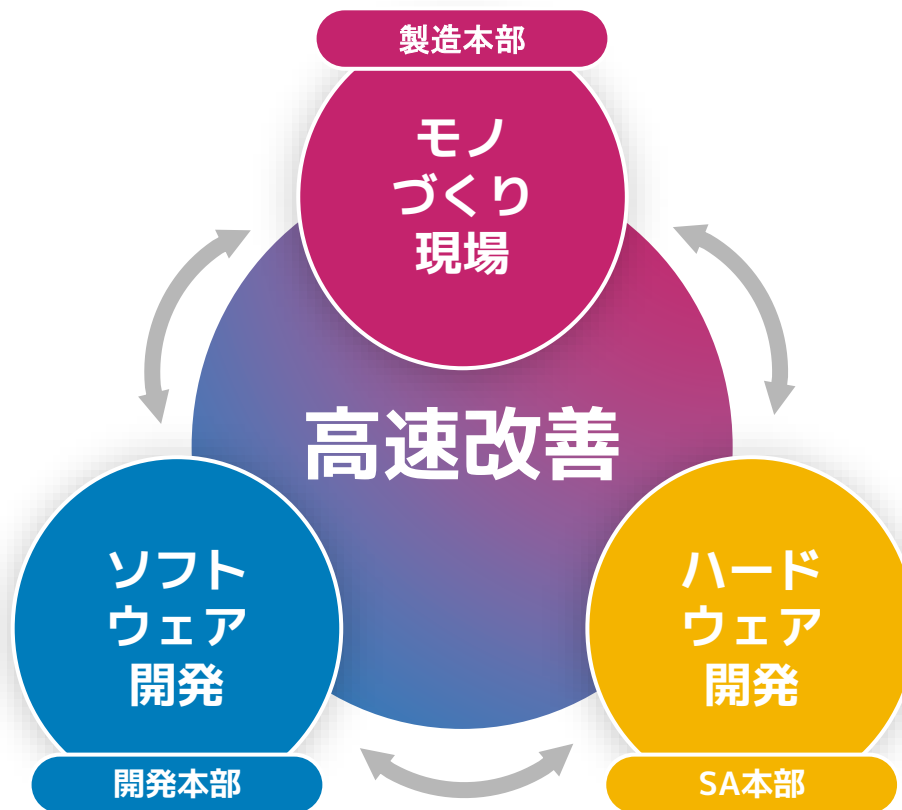
「デザインスキル」に依存した市場から



これから

AI化によって「誰もが作れる」時代へ





カテゴリ	印刷・加工方法			
アパレル プリント 	製品	シルクスクリーン印刷	量産の印刷方法では主流	事業投資
		DTG (ダイレクト印刷)	生地への直接印刷	自動化装置開発
		DTF (フィルム印刷)	生地へ転写	自動化装置開発
		刺繍		事業投資
	生地	デジタル捺染 染料	市場の90%染料と圧倒的だが環境負荷が高いため 徐々に減少傾向	
		デジタル捺染 顔料	今後拡大する市場	事業投資
雑貨 プリント 	UV印刷	ダイレクトUV印刷	現状の装置では自動化が困難で生産性の低い装置が主流	事業投資
		UV-DTF (フィルム印刷)	グローバルでも拡大中も日本では今年から拡大見込み	製品ラインナップ 拡充

5

Appendix

IMAGEMAGIC



IMAGEMAGIC

会社名	株式会社 イメージ・マジック
事業内容	オンデマンドプリントプラットフォームの提供
設立	1995年5月
代表者	代表取締役社長 山川 誠
資本金	347百万円（2026年6月末現在）
従業員数	542名（パート・アルバイト含む） ※2026年6月末現在
所在地	本社 東京都文京区小石川1-3-11 ライジングプラザ後楽園

前年比 +31名

Company

会社概要

工場

川越工場

埼玉県川越市今福1443-1 3F

朝霞工場

埼玉県朝霞市泉水2-10-27

志村工場

東京都板橋区志村1-2-11

国内最大級ファクトリー

GPC 岐阜工場

岐阜県多治見市旭ヶ丘10-6-17

オフィス

小石川本社

東京都文京区小石川1-3-11
ライジングプラザ後楽園 5/6F

西日本支社

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9

ショールーム

五反田ショールーム

東京都品川区西五反田7-22-17
TOCビル 10階15号

大阪ショールーム

大阪府大阪市中央区北久宝寺町
1-7-9



TOKYO Head Office

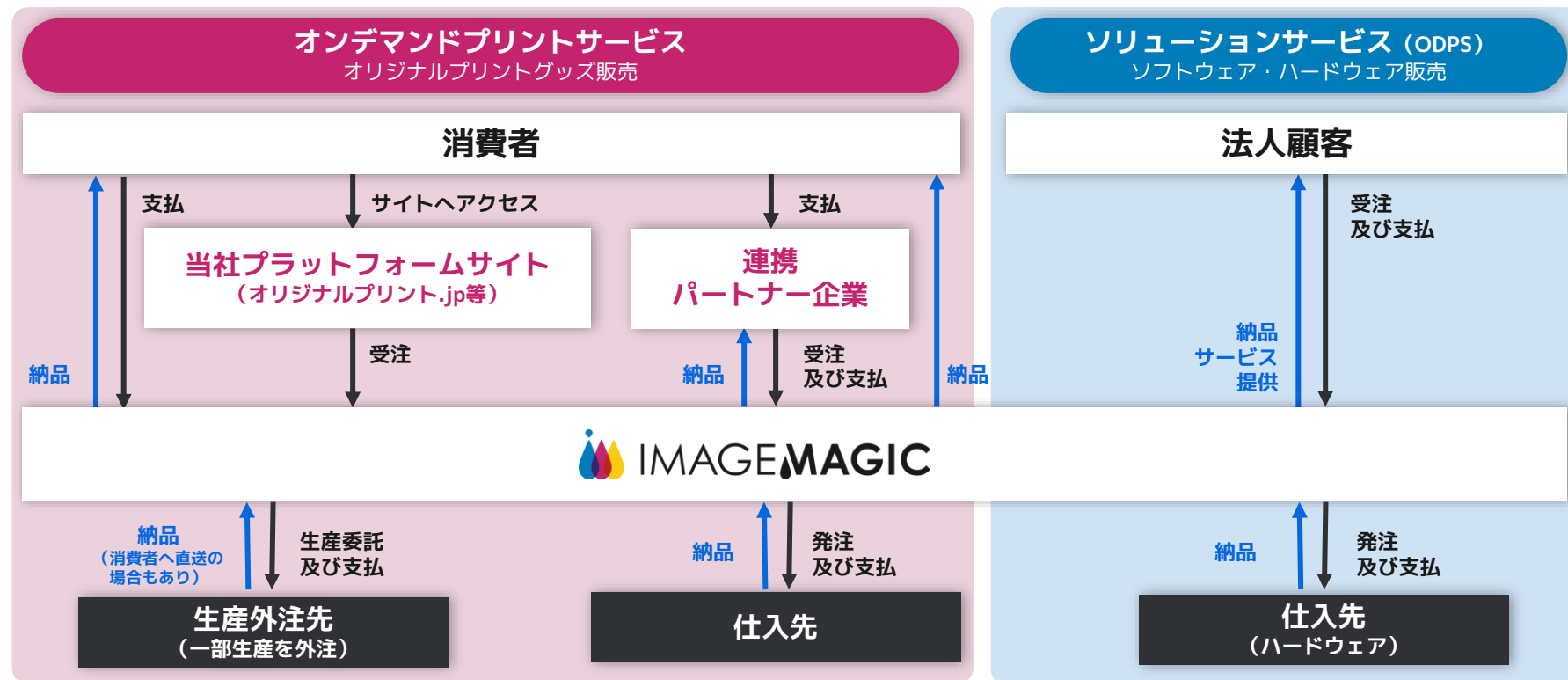


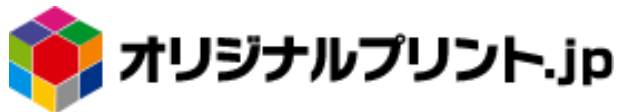
GOTANDA Showroom



GIFU Print Center

プリント×ITで 新たな価値を創造する





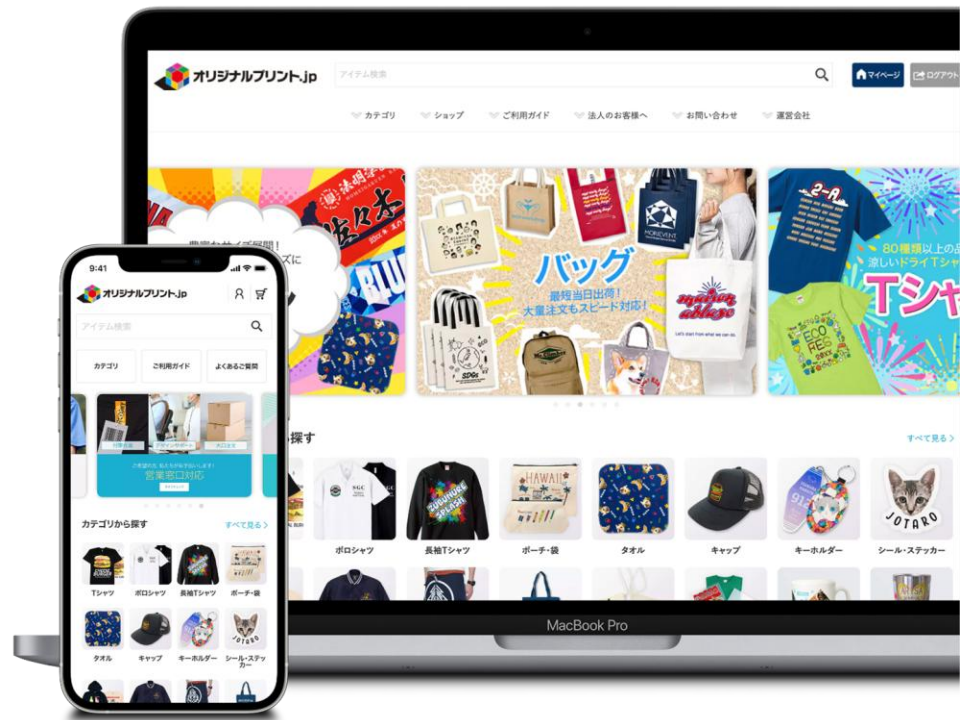
2010年 提供開始

国内最大級のWeb To Print オリジナルグッズ作成プラットフォーム

オリジナルグッズを作成できるECプラットフォーム。
アパレル、雑貨等、約1900種類のアイテムを取り揃え、
Webテクノロジーでご注文から出荷までを自動化し、お
求めやすい価格でのご提供を実現しております。



<https://originalprint.jp/>



拡大しているオンデマンドプリントの ビジネスフロー

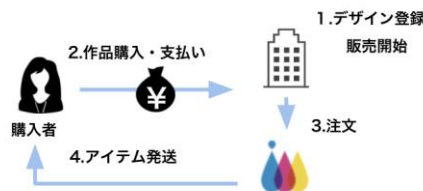
例：クリエイター



ビジネスフロー

- デザイン提供者であるクリエイターの出品アイテムの販売に対応
- 受注、生産、アイテムの出荷まで、クリエイターの手間が全くかからない

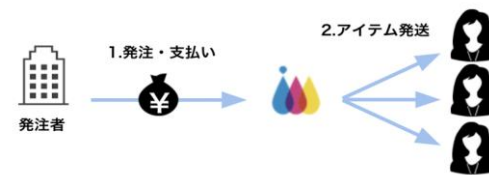
例：コンテンツホルダー



ビジネスフロー

- 販売する会社はキャラクター・有名人などのコンテンツを用意するだけで、幅広いアイテムの販売が可能
- 購入者が注文した後に、アイテムを作成して出荷するため在庫ロスなし

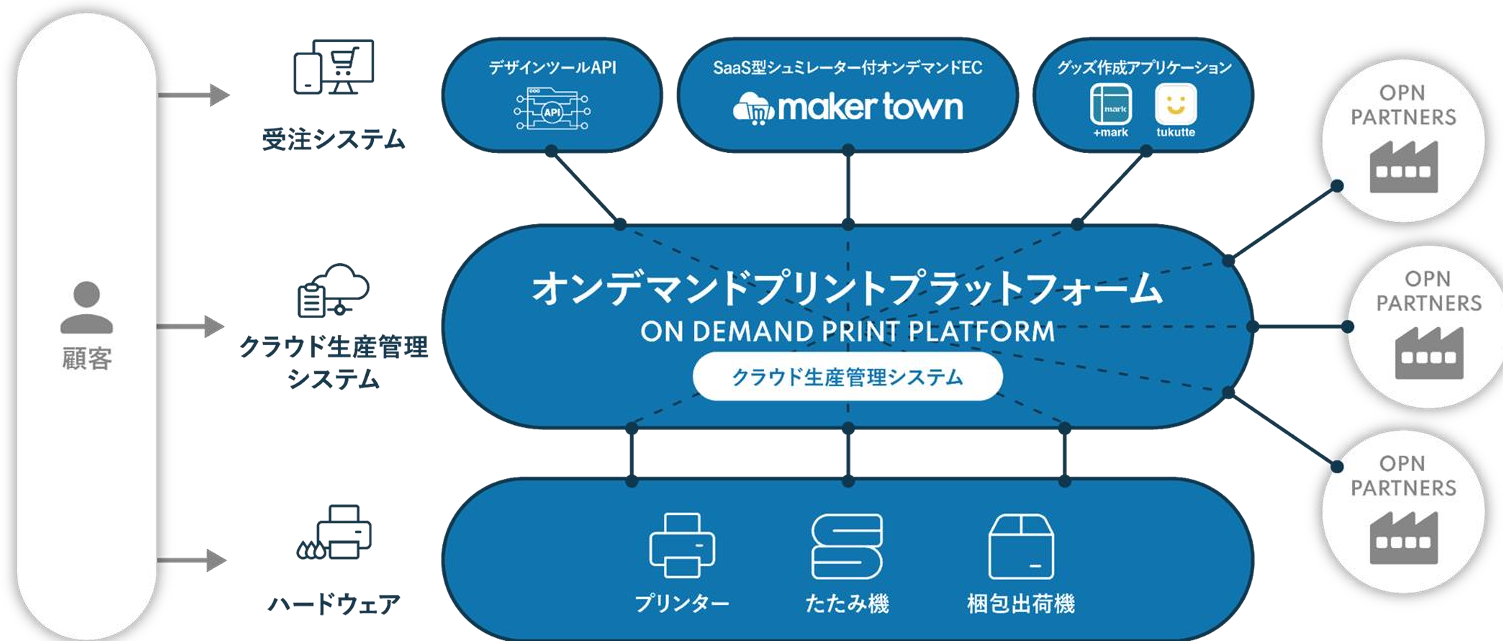
例：バリアブル印刷



ビジネスフロー

- オンデマンドプリントのワークフローを活用し、小ロットからのオーダーが可能
- システム連携を前提とした1オーダー1デザインの購入者ごとのバリアブル印刷に対応

受注から生産管理システム・ハードウェア等の 自社開発サービスをソリューションとして提供





DTF転写 (Direct to Film)

貼る

- ・旧来の方法から進化
- ・DTFはフィルム出力したものを熱で貼る方法

綿・ポリエステル・ナイロンをはじめ、様々な素材に対応

耐久性も強くユニフォームなど
様々な分野で拡大

旧来の転写は不向きだが
DTFはオンデマンドに向く

2020年頃から
急拡大中



DTG (Direct to Garment) インクジェットプリント

吹く（塗布）

- ・1点からフルカラーで印刷できる
- ・大量生産してもコストはあまり変わらない

綿・ポリエステルのみに対応

アパレル企業を中心に拡大

オンデマンドに最適

オンデマンドに最適なため
高速化や省力化が加速



シルクスクリーン印刷

刷る

- ・古くからある印刷方法
- ・1色ごとに版が必要
- ・小ロットには向いていないが、
数が増えれば最も安価で作ることが可能

様々な素材に対応

量産はほぼこの方法

オンデマンドに不向き

低コストのため
なくなることはない

		
デジタル捺染 顔料	デジタル捺染 染料	アナログ捺染 染料
インクジェット印刷	インクジェット印刷	スクリーン印刷
・風合いが硬い ・堅牢度が低い ・黒の発色が弱い が、技術進歩で解決段階	・風合いも柔らかい ・耐久性も高い	・風合いも柔らかい ・耐久性も高い
前処理・印刷・乾燥 1工程	前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程	前処理・印刷・蒸し・洗浄・乾燥 それぞれ別工程
超短納期が実現	工程が多く納期も長い	工程が多く納期も長い

環境負荷が少なく
今後急速にシフト

生地の95%近くは染料で印刷

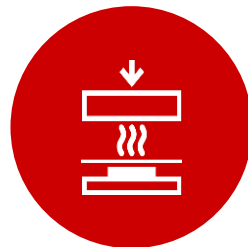


UV印刷

・インクジェットプリンターで
1点から可能

デジタル印刷

オンデマンドに最適



ホットスタンプ

・金属箔を熱と圧力で転写し、**高級感を演出**する印刷技術

型が必要
アナログ印刷

耐久性も強い

オンデマンドには**不向き**



パッド印刷

・シリコンパッドでインクを拾い、転写印刷

1色ごとに製版が必要
アナログ印刷

プラスチック系素材の
ノベルティ用途に最適

オンデマンドには**不向き**



シルクスクリーン印刷

・絹目状の版でインクを押し出し、**鮮明な印刷**を実現する技術

1色ごとに製版が必要
アナログ印刷

素材を選ばない
ノベルティ用途に最適

オンデマンドには**不向き**

フルカラーで少量でも
大量にも対応

少数には不向きで、多色も不向き
ロットが増えると非常に安価

- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の作成時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しており、当社はそのような一般に公知の情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。
- 本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。